

令和3年度 スポーツパフォーマンス研究センター事業報告書

スポーツパフォーマンス研究センター長 前田 明

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. これまでスポーツパフォーマンス研究センターを活用して実施してきた様々な研究プロジェクトについて検証し、本センターの活用方法の見直し案として、第4期に向けた研究、教育、社会貢献のミッションを策定した。
2. スポーツパフォーマンス研究センターを活用してスポーツパフォーマンス研究を推進するとともに、海外の研究者および異分野との共同研究など、様々な研究プロジェクトを行った。

II. 事業報告

1. 教育（授業に関することを除く）プロジェクト
 - ① スポーツパフォーマンス研究センターの機材説明会を開催し、光学式モーションキャプチャーシステム、フォースプレートを中心に使用説明を行った。また、今後汎用性が期待される「マーカーレスモーションキャプチャー」の機器紹介を行った。（主担当：村田）
2. 研究プロジェクト
 - ① 学内外の研究者によるスポーツパフォーマンス研究を推進し、他種目の研究論文、学会発表を行った。（主担当：前田（明）ほか）
 - ② 産学官連携による共同研究を推進し、外部資金の獲得を推進した。（主担当：前田（明）ほか）
 - ③ これまでのプロジェクトを検証し、報告書を作成した。（主担当：高橋ほか）
3. 社会連携・社会貢献プロジェクト
 - ① 鹿屋市との連携によりスポーツ合宿まちづくり推進事業を行った。（主担当：前田ほか）
 - ② 鹿屋市との連携によりジュニアアスリートへのサポート事業を行った。（主担当：前田）
 - ③ 鹿屋市の特定保健指導対象者に対する栄養指導および運動指導と施設見学に協力した。
 - ④ Blue Winds 事業、「みんなのタイムトライアル in NIFS」及び「みんなのタイムトライアル in 大崎」に協力し、ハイスピードカメラを用いた撮影、フィードバックを行った。
4. その他
 - ① センター会議、センター協力者会議を開催し、これまでスポーツパフォーマンス研究センターを活用して実施してきた様々なプロジェクトについて検証し、本センターの活用方法の見直し案を検討した。（主担当：前田（明）ほか）
 - ② センター内の環境整備、機器整備を行った。（主担当：前田（明）ほか）
 - ③ 競技力向上セミナー、四十周年事業における施設公開、SNS 用の広報ビデオ作成のための撮影など、各種の学内事業に協力した。
 - ④ 修学旅行の施設見学等に協力した。
 - ⑤ センター施設使用申込みをオンラインで行えるようにした。

Ⅲ. 決算報告

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	2,133 千円	事務補佐員 1 名（6 月～）、清掃用務員 1 名、アルバイト
物件費	2,924 千円	消耗品費、印刷製本費、雑費等
その他	1,082 千円	修繕費、通信運搬費、保守費等
計	6,139 千円	

Ⅳ. その他

1. 発刊物

スポーツパフォーマンス研究センター報告書（令和 2 年度）を発刊した。（主担当：高橋）

2. 開催会議状況

スポーツパフォーマンス研究センター協力者会議の開催。（主担当：前田・高橋、令和 4 年 3 月）

スポーツパフォーマンス研究を推進するため SPERC の案内を実施した。（主担当：前田）

3. 広報活動

4. センター利用促進策の成果

5. その他